

2024年2月6日実施  
日本大学芸術学部 一般選抜 A個別方式第1期第1週目  
学力試験英語 解答例 ※2.28訂正  
(配点は当校の推定によるものです)  
(訂正箇所は赤字で記載しています)

<英語>

【I】 配点：24点；各3点

(1)	<u>C</u>	(2)	<u>B</u>	(3)	<u>C</u>	(4)	<u>B</u>
(5)	<u>C</u>	(6)	<u>D</u>	(7)	<u>A</u>	(8)	<u>A</u>

【II】 配点：16点；各2点

(9)	<u>A</u>	(10)	<u>D</u>	(11)	<u>A</u>	(12)	<u>A</u>
(13)	<u>B</u>	(14)	<u>A</u>	(15)	<u>C</u>	(16)	<u>B</u>

【III】 配点：24点；各4点

(17)	<u>D</u>	(18)	<u>A</u>	(19)	<u>B</u>
(20)	<u>D</u>	(21)	<u>B</u>	(22)	<u>A</u>

【IV】 配点：18点；各3点

(23)	<u>D</u>	(24)	<u>B</u>	(25)	<u>A</u>
(26)	<u>C</u>	(27)	<u>A</u>	(28)	<u>B</u>

【V】 配点：18点；各3点

(29)	<u>A</u>	(30)	<u>D</u>	(31)	<u>B</u>
(32)	<u>D</u>	(33)	<u>C</u>	(34)	<u>A</u>

【短評】

【全体評】

問題レベルは例年通り。基本的な文法理解、語彙力があれば解答を導ける。

【I】正確な文法知識が問われるが、それほど難度は高くない。

【II】基本的な語法の問題だが、語彙力も必要。特に熟語の問題は正しく正解したい。

【III】青森のコスプレイベント「ダンボリアン」に関する長文問題。難度は高くない。丁寧に本文と選択肢を照らし合わせれば解答を導き出せる。例年通り【III】【IV】は同じテーマとなっており、【IV】を解答後であればよりスムーズに【III】の答えを導き出せるか。

【IV】例年通り大問【III】と関連する会話問題。問23は間違いやすく要注意。問24はややひねった動詞の語法で受験生を悩ませる問題か。

【V】音楽家の坂本龍一氏に関する文章。23年の話題なので、ニュースをしっかりと追っていれば有利か。文章中の空欄に語を挿入する問題で、文脈把握能力が問われる。

2024年2月6日実施  
 日本大学芸術学部 一般選抜 A個別方式第1期第1週目  
 学力試験国語 解答例 ※2.28訂正  
 (配点は当校の推定によるものです)  
 (訂正箇所は赤字で記載しています)

<国語>

【Ⅰ】配点：28；各4点

一	2	二	4	三	4	四	3
五	1	六	2	七	4		

【Ⅱ】配点：24；各4点

一	4	二	2	三	3
四	4	五	1	六	4

【Ⅲ】配点：30；問1、問2：各2点、問3～6；各4点

一A	4	一B	2	一C	4	一D	1
二ア	3	二イ	2	二ウ	5		
三	3	四	1	五	4	六	1

【Ⅳ】配点：11点；問1：各2点 問2：3点

一I	5	一II	1	一III	7	一IV	8	二	1
----	---	-----	---	------	---	-----	---	---	---

【Ⅴ】配点：7点；各1点

一a	6	一b	10	一c	2	一d	9
二a	4	二b	2	二c	1		

【短評】

【全体評】

全体の傾向は、例年より解きやすく、やや易化したか。

【Ⅰ】分量は例年通り、いくつかの内容があるが文意は明解、かつ選択肢もややこしいものは少なく、例年より易化。

【Ⅱ】文章も長く、解答のヒントが遠くにあるものも多く、時間がかかったかもしれない。ただし、難問はなく、例年より易化。

【Ⅲ】古文は近世の文章からの出題。話の筋を問うものが中心。分量も問題の質も例年通り。

【Ⅳ】【Ⅴ】例年より難化。それぞれ知識がないと解答できない問題が多く、ここをどれだけ正解できるかが勝負。